（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立天王寺スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体 【構成員】 株式会社 COSPAウエルネス イオンディライト株式会社 株式会社 パティネレジャー
指定期間	令和６年４月１日～令和11年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

２　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.0%
達成率		107.5%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.9%	100.0%	-0.1%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.4%	98.4%	1.0%

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	93.8%	93.5%	0.3%

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	36,367,803	36,013,242	4,078,803	10月～3月の工事休館にともなう補填金
	計画	32,289,000	35,829,000		
利用料金（使用料）収入	実績	5,061,520	9,851,080	-988,480	・10月～3月工事休館による収入減。 ・4月～9月は前年度同様に推移しています。
	計画	6,050,000	6,050,000		
自主事業収入	実績	26,903,778	38,550,366	-12,854,182	・10月～3月工事休館による収入減。 ・4月～9月は前年度より増加し、工事休館中も近隣施設で継続開催した結果、減少を3割に抑えております。
	計画	39,757,960	34,618,980		
その他収入	実績	0	0	0	―
	計画	0	0		
合計	実績	68,333,101	84,414,688	-9,763,859	―
	計画	78,096,960	76,497,980		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	25,872,269	25,255,102	9,761,357	・真田山プールとの計上按分を前年同様の按分比で計上したことにより計画差が発生しております。 ・前年より増加要因としては人材確保および育成に投資にする費用および工事休館中における教室継続実施等によります。
	計画	16,110,912	15,833,848		
物件費	実績	29,368,908	34,831,781	-2,706,461	10月～3月の工事休館中の水光熱費の減少によります。
	計画	32,075,369	32,623,778		
修繕費	実績	2,790,407	3,005,314	408,687	当初計画よりも修繕が必要な不具合が発生したためです。
	計画	2,381,720	2,381,720		
自主事業支出	実績	19,236,977	25,963,493	-2,033,377	10月～3月工事休館中に代替え場所がなく開催できなかった教室分の費用減です。
	計画	21,270,354	19,471,711		
その他支出	実績	4,867,196	6,020,748	-1,391,410	当初計画よりも雑費等の経費減および10月～3月の工事休館に伴う費用減です。
	計画	6,258,606	6,186,924		
合計	実績	82,135,757	95,076,438	4,038,796	―
	計画	78,096,961	76,497,981		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	107.5%	B	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・下期の工事休館に備え違約金が発生しないよう、事前に電気、ガスの契約プランを締結しコスト削減に勤めた。 ・引続き、空調のON/OFFの調整をこまめに実施、未使用時にはOFFを徹底した。 ・備品、消耗品発注の際は最低ロットを守り、必要最小限の経費で済むよう管理し購入した。 ・修繕については、毎月ミーティングで優先順位と修繕方法を吟味しコストダウンとともに快適な施設づくりに努めた。また設備故障等については、必ず相見積を取り価格交渉を行いコスト削減に努めた。 ・人員配置は適材適所に人を配置し、安全を最優先に無理無駄の無いシフトコントロールに努めた。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

5　利用者ニーズ・満足度等

・突発的な故障・不具合以外は、計画修繕を心掛け、故障・不具合を未然に防止し、営業、利用者の迷惑につながらないように努めた。
・ホームページ内に「障がいのある方の施設環境」ページを新設。誘導用ブロック、多目的更衣室や、利用案内を掲載し利便性の向上に努めた。
・AI翻訳機「ポケトーク」を導入し、増加傾向にある外国人利用者の利便性向上と利用ルール周知に努めた。
・貸館の空き状況を館内掲示し、利用促進に努めるとともに利用者の利便性を図った。

6　外部専門家意見

下期（10～3月）の工事休館の影響を大きく受けた年度であったが、施設利用状況については、ほぼ空きの無い状況が前年度から継続され、また、利用者満足度についても目標を上回ることができており、引き続き順調な施設運営がなされているように見受けられる。
工事休館の影響により、利用料金収入・自主事業収入は減少したものの、代替施設での教室継続等により影響を抑制し、利用者サービスの維持と継続利用の確保に努めた点は評価できる。
支出については、工事休館の影響により減となった項目はあるものの、それを上回る人件費の増額のため、今年度も赤字となっている。次年度は民間事業者に期待されている収益性の向上を図ることで収支改善につなげていただきたい。
すべての施設に共通していることだが、満足度が高いことに関して、「高くて良かった」で終わらず、施設ごとに満足度が高い理由を適切に分析して、今後につなげてほしい。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

1　基本情報

施設名称	大阪市立生野スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体 【構成員】 株式会社 COSPAウエルネス イオンディライト株式会社 株式会社 パティネレジャー
指定期間	令和６年４月１日～令和11年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

2　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		84.0%
達成率		105.0%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.7%	99.1%	0.6%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	93.3%	91.3%	2.0%

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

３　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	29,383,000	30,245,000	0	－
	計画	29,383,000	30,245,000		
利用料金（使用料）収入	実績	3,961,570	3,879,430	-1,595,630	第2体育場の稼働率は前年よりも増加しておりますが、計画まで未到達となりました。
	計画	5,557,200	5,557,200		
自主事業収入	実績	12,927,406	9,243,650	3,225,926	教室在籍数が増加傾向にあり、当初計画よりも収入増となりました。
	計画	9,701,480	9,426,207		
その他収入	実績	55,990	2,432	55,990	当初計画に計上になかったイベント収入等によります。
	計画	0	0		
合計	実績	46,327,966	43,370,512	1,686,286	－
	計画	44,641,680	45,228,407		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	22,755,516	23,454,484	-124,174	業務の内製化によるパート人件費の減少です。
	計画	22,879,690	22,879,690		
物件費	実績	10,995,081	9,378,068	2,559,698	利用者の利便性の向上および安全対策をふまえ、空調の使用頻度を増やしたことにより光熱費が計画プラスとなりました。
	計画	8,435,383	8,432,272		
修繕費	実績	982,461	963,600	-457,439	当初計画よりも修繕不具合の発生が少なかったためです。
	計画	1,439,900	1,439,900		
自主事業支出	実績	7,622,609	6,850,623	932,333	収入増による支出増となります。
	計画	6,690,276	6,497,585		
その他支出	実績	4,106,645	6,178,836	-1,089,786	当初計画よりも雑費等の経費減によります。
	計画	5,196,431	5,978,960		
合計	実績	46,462,312	46,825,611	1,820,632	－
	計画	44,641,680	45,228,407		

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	105.0%	B	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗品については、担当者を配置し、案件ごとに管理表を作成。無駄な消耗品購入や過剰な購入が無いよう努めた。 ・修繕については、共同事業体のイオンディライト様と2ヶ月に1回の修繕会議を行い、情報の共有と迅速な不具合改修に努めた。 ・内のトイレやロッカールームについては、節電の協力（電源のON／OFF）を呼びかけ、使用中以外は消灯を実施。 ・空調については、デマンドが上がらないようエリアを分けてON／OFFの実施を行った。	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5　利用者ニーズ・満足度等

・ご意見ご要望は、可能な限り24時間以内に第一報を入れるようにしている。
・歴史のあるスポーツセンターのため、館内の整理整頓と清掃の徹底を実施している。来年度も継続して実施する。
・「障がいのある方の利用促進に、HPページや館内の清掃強に努めた。来年度も引き続き実施する。

6　外部専門家意見

稼働率が前年度比で増加しているのに加えて、利用者満足度についても前年度は目標未達であったが、今年度は８％向上したうえで目標達成していることは評価できる。
稼働率はもともと高い水準にあり、空き枠の掲示等の取組により前年度比でもさらに向上しているものの、利用料金収入は依然として計画値を下回っている。一方で、自主事業収入については、前年度比・計画比ともに上回っており、各種取組の成果として評価できる。今後も利用者ニーズの把握と事業内容の改善を継続し、安定的な収入確保につなげられたい。
あわせて、経費縮減の取組を継続・強化し、収支の赤字脱却に向けた改善を図られたい。

7　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

1　基本情報

施設名称	大阪市立城東スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体 【構成員】 株式会社 COSPAウエルネス イオンディライト株式会社 株式会社 パティネレジャー
指定期間	令和６年４月１日～令和11年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

2　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.6%
達成率		113.3%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.9%	99.9%	0.0%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.9%	99.8%	0.1%

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	83.6%	84.1%	-0.5%

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

３　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	39,541,000	39,541,000	0	―
	計画	39,541,000	39,541,000		
利用料金（使用料）収入	実績	9,549,150	9,496,430	2,988,750	計画時に事業教室開催費用の売上計上を見込んでおらず、前年同様の実績であったが、差異が生じました。
	計画	6,560,400	6,560,400		
自主事業収入	実績	25,891,302	24,206,895	-9,747,048	計画していた営業施策を実施するも当初計画よりも成果達成ができず、計画未達となりました。
	計画	35,638,350	34,945,350		
その他収入	実績	41,140	21,668	27,940	自主事業で使用したテニスボールをユーズドボールとして販売しているが、利用者への認知が広がり収入が増加しました。
	計画	13,200	13,200		
合計	実績	75,022,592	73,265,993	-6,730,358	―
	計画	81,752,950	81,059,950		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	22,449,296	22,256,984	-970,851	業務効率化を進め日勤シフト要員数を見直ししたことが主な要因です。
	計画	23,420,147	23,025,130		
物件費	実績	21,872,427	21,674,838	-3,931,914	巡回中、更衣室等、利用者不在の場所を空調、照明を落とし、節電に努めたことで、計画内に収めることができました。
	計画	25,804,341	24,262,377		
修繕費	実績	5,240,755	2,075,160	3,800,855	体育館の空調機器、消防設備機器不具合による修繕費が計画を大きく上回った主な要因です。
	計画	1,439,900	1,439,900		
自主事業支出	実績	16,798,196	15,948,086	-7,511,969	収入が計画未達による支出減が主な要因です。
	計画	24,310,165	23,825,065		
その他支出	実績	5,985,650	6,241,773	-792,747	案内物の見直しペーパーレスを勧め、消耗品費等を抑止できました。
	計画	6,778,397	8,507,478		
合計	実績	72,346,324	68,196,841	-9,406,626	―
	計画	81,752,950	81,059,950		

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	113.3%	A	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・巡回中、更衣室等、利用者不在の場所を空調、照明を落とし、節電に努めた。 ・消耗品は、在庫管理を行い必要な数のみをこまめに発注し、費用の抑制に努めた。 ・修繕については、項目ごとに優先順位をつけるとともに、修理の際は必ず相見積を取りコスト削減に努めた。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

５　利用者ニーズ・満足度等

・ご意見ご要望は、直接ご返答、あるいはメールによるお問い合わせへの返答は速やかに対応している。
・ホームページ内に「障がいのある方の施設環境」ページを新設。誘導用ブロック、多目的更衣室や、利用案内を掲載し利便性の向上に努めた。
・AI翻訳機「ポケトーク」を導入し、増加傾向にある外国人利用者の利便性向上と利用ルール周知に努めた。

６　外部専門家意見

利用率、利用者満足度ともに非常に高い水準を維持できており、評価できる。
収支については、昨年度に引き続き黒字を維持しているものの、昨年度同様、収入は計画値を下回っているため、計画達成に向けて引き続き積極的に取り組まれたい。特に自主事業においては、計画していた営業施策を実施したものの当初計画に対して成果が未達となっており、収入増につながる施策の精度向上が求められる。次年度は未達要因の分析を踏まえ、教室等の事業内容や対象設定の見直し、周知手法の見直し等により収入の底上げを図るとともに、経費縮減の取組みを継続し、収支改善に努められたい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

1　基本情報

施設名称	大阪市立真田山プール
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体 【構成員】 株式会社 COSPAウエルネス イオンディライト株式会社 株式会社 パティネレジャー
指定期間	令和６年４月１日～令和11年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

2　管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		80.0%
達成率		100.0%

2　管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		82.0%
達成率		102.5%

2　管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比	
利用人数	56,264	100,859	-44,595	※10～3月工事休館
稼働率				

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	38,555	36,080	2,475
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比	
利用人数	12,819	24,700	-11,881	※10～3月工事休館
稼働率				

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比	
利用人数	ー	14,092	ー	※工事休館のため営業なし
稼働率				

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	199,578,209	183,227,400	13,669,209	・10月～3月の工事休館にともなう補填金
	計画	185,909,000	182,369,000		
利用料金（使用料）収入	実績	31,617,690	60,286,930	-9,082,310	・10月～3月の工事休館による収入減。 ・4月～9月は前年同様に推移しております。
	計画	40,700,000	40,700,000		
自主事業収入	実績	36,202,497	63,473,616	-46,134,285	・10月～3月工事休館による収入減。 ・4月～9月は前年度より増加し、工事休館中も生野屋内プールの教室へ移行を促しました。
	計画	82,336,782	80,267,179		
その他収入	実績	100,858	0	100,858	・当初計画の計上になかった有料レッスン券の計上です。
	計画	0	0		
合計	実績	267,499,254	306,987,946	-41,446,528	ー
	計画	308,945,782	303,336,179		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	60,406,614	58,038,690	-4,037,033	天王寺SCとの計上按分を前年同様の按分比で計上したことにより計画差が発生しております。前年より増加要因としては人材確保および育成に投資にする費用および工事休館中における教室継続実施等によります。
	計画	64,443,647	63,335,391		
物件費	実績	156,109,835	192,127,144	-19,377,924	10月～3月の工事休館中に伴う水光熱費の減少によります。
	計画	175,487,759	185,563,048		
修繕費	実績	11,161,626	12,021,253	1,634,746	当初計画よりも修繕が必要な不具合が発生したためです。
	計画	9,526,880	9,526,880		
自主事業支出	実績	13,223,052	10,252,110	-8,333,302	10月～3月工事休館中の収入減に伴う支出減です。
	計画	21,556,354	19,757,711		
その他支出	実績	19,279,937	22,089,392	-18,651,205	当初計画よりも雑費等の経費減および10月～3月の工事休館に伴う費用減です。
	計画	37,931,142	25,153,149		
合計	実績	260,181,064	294,528,589	-48,764,718	ー
	計画	308,945,782	303,336,179		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	100.0%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	102.5%	B	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・下期の工事休館に備え違約金が発生しないよう、事前に電気、ガスの契約プランを締結しコスト削減に勤めた。 ・引続き、空調のON/OFFの調整をこまめに実施、未使用時にはOFFを徹底した。 ・備品、消耗品発注の際は最低ロットを守り、必要最小限の経費で済むよう管理し購入した。 ・修繕については、毎月ミーティングで優先順位と修繕方法を吟味しコストダウンとともに快適な施設づくりに努めた。また設備故障等については、必ず相見積を取り価格交渉を行いコスト削減に努めた。 ・人員配置は適材適所に人を配置し、安全を最優先に無理無駄の無いシフトコントロールに努めた。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

5　利用者ニーズ・満足度等

・突発的な故障・不具合以外は、計画修繕を心掛け、故障・不具合を未然に防止し、営業、利用者の迷惑につながらないように努めた。
・ホームページ内に「障がいのある方の施設環境」ページを新設。誘導用ブロック、多目的更衣室や、利用案内を掲載し利便性の向上に努めた。
・AI翻訳機「ポケトーク」を導入し、増加傾向にある外国人利用者の利便性向上と利用ルール周知に努めた。
・貸館の空き状況を館内掲示し、利用促進に努めるとともに利用者の利便性を図った。

6　外部専門家意見

下期（10～3月）の工事休館の影響を受け、利用人数は大きく減となっているものの、利用者満足度は目標を達成できている。
工事休館の影響下にあっても、代替施設での教室継続等により影響を抑制し、利用者サービスの維持と継続利用の確保に努めた点は評価できる。
収支については黒字を確保できているが、工事休館の明ける次年度も民間事業者ならではのアイディアや工夫により更なる管理費の縮減や利用者サービスの向上に取り組んでいただくことで黒字をキープできるよう尽力していただきたい。
特に水道光熱費や人件費は削減が難しいため、間接業務の効率化を図って、間接費用を削減できる余地がないかを検討してほしい。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

1　基本情報

施設名称	大阪市立生野屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体 【構成員】 株式会社 COSPAウエルネス イオンディライト株式会社 株式会社 パティネレジャー
指定期間	令和６年４月１日～令和11年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

2　管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		80.1%
達成率		100.1%

2　管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		88.6%
達成率		110.8%

2　管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	63,925	59,056	4,869
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	29,008	23,873	5,135
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	105,124,000	103,679,000	583,000	－
	計画	104,541,000	103,679,000		
利用料金（使用料）収入	実績	34,170,299	28,013,611	4,081,229	真田山工事休館や近隣施設の休館の影響により収入増となりました。
	計画	30,089,070	30,089,070		
自主事業収入	実績	48,861,926	37,501,583	-1,460,581	教室、スクールの在籍計画未達
	計画	50,322,507	48,479,316		
その他収入	実績	158,400	0	158,400	大阪市介護予防教室（貯筋トレーニング）の開催によります。
	計画	0	0		
合計	実績	188,314,625	169,194,194	3,362,048	－
	計画	184,952,577	182,247,386		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	73,277,092	65,164,748	-1,053,372	日常作業の効率化（削減）及び、人員配置シフトを見直し等に当初計画よりも費用減で推移委しております。
	計画	74,330,464	74,330,464		
物件費	実績	57,008,820	61,558,059	-8,691,360	当初計画より水光熱費が下回っております。
	計画	65,700,180	65,696,329		
修繕費	実績	8,582,178	5,313,877	1,332,078	当初計画よりも修繕不具合が発生したためです。
	計画	7,250,100	7,250,100		
自主事業支出	実績	16,990,935	12,209,502	5,164,051	当初計画より教室開催講師料が発生したためです。
	計画	11,826,884	11,172,692		
その他支出	実績	14,548,442	13,300,362	-11,296,507	当初計画より、その他経費費用減および計上変更による差異です。
	計画	25,844,949	23,797,801		
合計	実績	170,407,467	157,546,548	-14,545,110	－
	計画	184,952,577	182,247,386		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	100.1%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	110.8%	A	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・労務費については適材適所に人を配置し、安全を最優先に無理無駄の無いシフトコントロールに努めたが、10月以降は、真田山工事に伴う受け入れに対し、人員配置を補強した事によって、人件費増となった。 ・館内温度や水温設定のタイマー設定調整することでコスト削減に努めた。 ・館内空調温度を25℃に設定し、使用していない時はこまめにOFFにする事でコスト削減・節電に努めた。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

5　利用者ニーズ・満足度等

・突発的な故障・不具合以外は、計画修繕を心掛け、故障・不具合を未然に防止し、営業、利用者の迷惑につながらないように努めた。
・ジムエリアに無料Wi-Fiの導入。
・AI翻訳機「ポケトーク」を導入し、増加傾向にある外国人利用者の利便性向上と利用ルール周知に努めた。

6　外部専門家意見

全体として利用者満足度が目標を達成していることは評価できるが、屋内プールの利用者満足度については目標を達成しているものの、前年度比で10Pt低下しているため、要因を分析のうえ、利用者意見の把握と改善の優先順位付けを行い、満足度の回復・維持に努められたい。
収入については、近隣施設の休館の影響もあり増収となっており、支出については、人件費や物価が高騰している中、日常作業の効率化による削減や人員配置・シフトの見直し等により当初計画を下回り、結果として収支を黒字としている点は評価できる。次年度は外部要因に左右されにくい集客・収入確保策の継続と、適正な人員配置や更なる経費縮減の取組みのもとでの効率的な運営を進め、黒字の維持・安定化に努められたい。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	